

地域とともにある  
学校づくり

えべつ型コミュニティ・スクール

えべつCS通信

江別市教育委員会 教育部 総務課



## 「えべつ型CS」地域とともにある学校づくり【実践例紹介】

江別市の伝統（教育のまち：オール江別で子どもを育てる）を基盤として、学校・家庭・地域が連携・協力して子どもを育てる持続可能な仕組みを持った学校づくりを行う「えべつ型コミュニティ・スクール」の実践例。今回は、中央中学校の取り組みを紹介します。

**中央中学校**（学校・保護者・地域の連携により、笑顔と笑顔が重なり合える活動を目指して）

### 「三つの支援・活動」 《学校・保護者・地域の連携》

中央中学校では、学校・保護者・地域の連携により、コミュニティ・スクールの事業として、

①教育効果を高める活動支援[フラワーロード（校舎前の花壇）、ボランティアによる授業支援]

②生徒の学校生活・諸活動の側面的支援[制服リサイクル、文化祭バザー、夜間巡視の会]

③学校だけでは運営できない教育活動の補完的支援&交流活動[ふれあいプラザ、ふれあいcafe]

の三つの支援・活動を行っています。

5月8日(水)に開催した第1回学校運営委員会で、今年度の学校運営に関する方針の承認が行われました。5月16日(木)には校区内の自治会の総務部長に出席いただき、コミュニティ・スクールの概要と年間の活動について説明し、協力をお願いしています。主な活動を紹介します。

**夜間巡視の会** 校区の自治会役員、中央中、中央小、対雁小のPTA・教職員がチームとなって、金曜の夜に、年間13回、校区内を巡視しています。

**ふれあいプラザ** PTAの各委員会と地域の方との協働で、年間5回の講座を実施しています。昨年度は、①化粧水、リップクリームづくり  
②食育講習&給食試食会③吹奏楽部定期演奏会④講演会（悪天候で中止、今年度実施予定）⑤森永乳業 M'S Kitchen（出張料理講習会）を行



ふれあいcafe R元.5.24

いました。  
この他、文化祭バザーでは、文化祭当日に校区にあるお弁当屋さんのご厚意により、生徒の作品を商品化して販売しました。今年のふれあいcafeは、体育祭の時に昼食を食べながら、修学旅行のビデオを見ました。また、制服リサイクル活動も行っています。

### 水野校長先生に伺いました。



R元.9.2 校長室にて

ふれあいプラザは、開校翌年の平成6年から毎年開催されています。夜間巡視も、校区の小学校も含めた教職員、保護者、地域の自治会の役員の方と一緒にいる現在の形になってから、10年以上が経過しています。いずれも、今までやっていたことを、えべつ型コミュニティ・スクールとして行うことにしたものです。

これからも、学校・家庭・地域が連携・協力して、笑顔と笑顔が重なり合える活動を目指していきます。

上記の中央中の活動の様子は中央中HPをご覧ください。

## 平成30年度学校評価の結果について・・・【その2】「主な意見」

学校関係者評価の中で出された、代表的な意見を紹介します。なお、文末の表現は常体に統一させていただいています。

### ◎評価の項目設定、評価の個別または全般に対するもの

- ・(江別第一小) 自己評価については、やや厳しく評価しているように感じるが、職員で目標を高く設定して、共通理解を図り取り組んでいることを強く感じた。
- ・(江別第三中) 評価結果を省みて、今後の課題を見だし、「必要なことは何か」をしっかりと考え、できうる限りの方策を提示していることから、全ての項目について、適切であると考え。

### ◎分野に関わる改善方策や日頃感じていることなど

#### ①保護者アンケートに関すること

- ・(大麻小) 保護者アンケートにも記載があったが、地域の人たちにもう少し子どもたちの様子を見守ってほしい。自治会にも働きかけていきたい。
- ・(大麻西小) 保護者からの意見には、課題の改善を求めているものもあるが、学校の取り組みを評価し、支え、励ましてくれているものも多い。とかく、反省点に意識が向きがちであるが、実践していることに自信をもって教育活動を進めてほしい。



#### ②学校と地域・家庭との連携

- ・(江別太小) 本地域はこの一年、子どもが絡む交通事故がなかった。交通パトロールの成果ではないか。
- ・(野幌小) 学校はPTAと十分に連携を取って教育活動を進めているので、大変よいと思う。地域としてもできるかぎり連携をさせていただいている。今後も連携を継続していきたい。

#### ③児童・生徒指導に関すること

- ・(対雁小) 子どもたちの挨拶もよく自己有用感の高まりが感じられる。
- ・(文京台小) 日々、登校時の子どもの表情から全体的に明るく元気な楽しい学校生活が感じられる。全教職員一体となり、きめ細かに指導されている。目に見えない、惜しみない努力の結果だ。

#### ④教職員に関すること

- ・(大麻泉小) 働き方改革が言われている。先生方の体も気遣って行ってほしい。
- ・(大麻中) 働き方改革については、先生方の時間外勤務時間が短くなることによって最終的には子どもに返っていく。学校で知恵を絞って頑張してほしい。

#### ⑤教育課程・学習指導に関すること

- ・(豊幌小) 子ども達の学力向上、体力向上のために学校(先生方)が一生懸命に取り組んでいる姿がうかがえる。また、地域の特色を生かした教育活動は、豊幌だからこそできる取り組みだと思う。子ども達にとって楽しく過ごせる、楽しく学べる学校であってほしい。
- ・(いずみ野小) 「自ら考え、表現する」ことの成果が出てきているのは、すばらしい。低学年のうちからの意識づけが大切だと思う。

#### ⑥今日的な教育課題

- ・(江別第二中) 昨年より運営委員会で話し合われたことが、実現できていることが素晴らしいことである。二小の6年生が、年3回の中学校登校を通して、すでに中学校が自分の学校になっているのがよい。
- ・(野幌中) 小中連携や地域との連携は今後も重要である。そういった意味でも吹奏楽部の取り組みはすばらしい。

#### ⑦その他

- ・(北光小) 小規模校のメリットを生かした教育活動が実践されている。
- ・(上江別小) 学校顔づくり事業としての「読書活動」や「花壇の整備」などは、これまで通り取り組みを進めて行くことよい。